

学習通信 STEP UP



数学と英語がどうしても苦手・・・

「数学と英語の勉強が苦手・・・」「数学の勉強をしているのに点数が上がりにくい」「英語の授業が急にわからなくなった」という悩みはありませんか。中高生の教材や参考書を作っているベネッセという会社のアンケートによると、数学に苦手意識を持っている高校生が45%、英語は42%の高校生が苦手意識を持っているという調査結果が出ました。これはほかの社会・理科・国語に比べてとても割合が高いそうです。

数学と英語に苦手意識を持つ生徒が多い理由

では、なぜ数学と英語の勉強は苦手を感じるのでしょうか。その理由に、2つの教科の特性が関係しています。

先日の全校集会でもお話ししましたが、数学と英語は「積み上げ型」教科とか、「積み木型」教科と呼ばれています。例えば、小学校で習った掛け算がわからなかった場合、中1で学ぶ方程式は難しいでしょう。また、中1で習う英語の「過去形」をしっかり理解していない場合、中3での「完了形」は理解は難しいです。

積み上げ式の教科(数学・英語)は、わからないことをそのままにしておくと、その次の単元も全く理解できないまま、授業だけが先へ進んでしまいます。他の教科でも積み上げ式の側面はありますが、英語・数学が特にその傾向が顕著なため、英語・数学を苦手とする人が多いのです。



その場しのぎの学習をしていませんか

英語・数学でつまずいてしまう人のほとんどが、過去のどこかでその場しのぎの学習やテスト対策をしてしまい、それをわからないまま放っておいたために苦手意識を持ってしまいます。これを防ぐには、そのつまずいたところまで戻って理解し、そこから追いついていくことが大切です。さらに、いま授業でやっていることを理解してようやくスタート地点に立てます。

学力診断テストの分析↓2の1隣にあります↓

戻って学ぶことは恥ずかしいことではない

前の学年に戻って学習することは恥ずかしいことではありません。むしろとても有効な学び方です。例えば、今年の「学力診断テスト」を分析すると、数学の問題のうち9割近くが1・2年生の範囲からの出題でした。その他の教科も同様で、国語では、小学校で学んだ漢字が中3のテストで出題されました。このことからわかるように、前の学年に戻って学ぶと、テスト対策としてもとても有効です。



わからない場合は先生に質問しよう

昼休みに不定期で質問会を行っています。授業後に先生に質問することもよいでしょう。先生方は皆さんの質問を待っています。